（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	やまばと園放課後等デイサービス事業所

公表日 令和8年2月18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・利用定員に対して基準を満たしたスペースとなっています。	・活動内容によっては、園の体育館などを利用する等、工夫していきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1	・利用定員に対しての基準は満たしていますが、個別に支援を要する利用者さんがいるため、利用者さんの状態等を考慮すると不十分な場合もあります。（特に学校休業日について）	・女性の支援員のみのため、同性介助が難しい場合があります。 ・利用者さんの人数や状態に合わせた職員配置の検討や活動内容によっての支援の工夫が必要と思われます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・室内は段差もなく、バリアフリー化がなされています。特性に配慮し日課について室内に掲示する等の環境上の配慮も行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・生活空間は衛生面に配慮しています。また、利用者さんの活動に合わせた空間となっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・ワンフロアのため個別の部屋の提供は難しいです。状況に応じてパーティションを活用して、個室スペースを確保する等の工夫を行っています。	・個別の部屋の提供や音をさえぎることが難しい状況です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・マニュアルが整備されており、PDCAサイクルに職員が参画しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者向け評価を実施し、結果に基づいて業務の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・支援開始前の打ち合わせ等を通して、子どもの状態について再確認したり、統一した支援ができるように努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・第三者による外部評価は実施していませんが、法人が行う内部監査等を通じて業務の改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・様々な内部研修や外部研修に参加し、職員の資質向上に努めています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・アセスメントを適切に行い、個々のニーズや課題を導き出し、一人ひとりに適した個別支援計画書の作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・個別支援計画書を作成する際は、職員間で意見を出し合い共通認識を持ちながら統一した支援ができるように努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	・個々の個別支援計画について職員間で共有し、計画に沿った支援ができるように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・法人で統一されたアセスメント様式を活用して行っています。日常の様子を観察し、本人の特性を把握できるように努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容を踏まえた計画書の作成に努めています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員間で話し合いを行い、活動内容について立案しています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・活動プログラムが固定化しないように、季節毎の制作を行ったり、特性に配慮した個々の活動ができるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別活動と集団活動を組み合わせ子どもの状況に応じた支援に努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援開始前に活動内容や役割分担、個々に応じた支援内容等について確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・その日の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で情報共有し、次の支援に繋げられるように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々の支援に関して正確に記録し、支援の検証・改善につなげるように努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6か月に1回モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	・ガイドラインの内容に沿って、複数の基本活動を組み合わせるように努めています。	・地域交流の機会の提供ができるように努めていきたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・利用者さん自身が決定したり、選択する機会を設けながら、自己決定をする経験を積み重ねられるように支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・主に児童発達支援管理責任者が参画していますが、必要に応じて他の支援員が参画する場合もあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校から教育計画表や下校時刻表をいただきながら、情報の共有や連絡調整を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・今年度は対象者がいませんでしたが、状況に応じて相談支援専門員を通しながら連携し情報の共有、相互理解に努めます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・相談支援専門員介して情報提供を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2	・地域に児童発達支援センターはありませんが、児童支援・療育部会の研修に参加したり、支援アドバイザーによる研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・放課後児童クラブとの交流や、地域の子どもと活動する機会は設けていません。	・利用者さんやご家族の意見を伺いながら、交流する機会について検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・児童支援・療育部会へ参加し、関係機関との連携や情報交換等を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・利用時には連絡帳を通して様子を伝えたり、必要時には直接状況等について話をしご家族と事業所間で情報共有を図れるように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの提供は行っていません。	・ご家族が参加できる研修については、ご意向を確認しながら検討していきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・利用契約書や重要事項説明書の説明等を通して、運営規定や利用者負担等について分かりやすく伝えるように努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・個別支援計画書作成時には、アセスメントを適切に行うと共に、子どもと保護者の意向を確認するために面談を実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5	0	・作成した個別支援計画書については、支援内容を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・常に子どもの様子については共通認識を持つように努めています。必要に応じて助言等を行います。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	・現在、保護者会の開催、兄弟同士で交流する機会は設けていません。	・ご家族のご意向を確認しながら検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情相談受付の体制は整っており、重要事項説明書の説明等を通して伝えています。現在、苦情等はありませんが、あった場合は適切に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・回数は少ないですが、お便りを通して日々の利用者さんの様子について発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報保護規定のマニュアルが整備されており、それに基づいて十分留意して対応しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・利用者さんの個々の特性に応じて文字や絵カード等を活用して支援しています。ご家族とは連絡帳や送迎時等を利用して、意思の疎通に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・事業所としては行っていませんが、園としては行っています。	・ご家族への情報提供に努めていきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	・各マニュアルを整備し、職員間の周知に努めていますが、保護者への周知は十分に行われていない状況です。今年度は地震を想定した訓練を７月に実施し、今後、火災想定の訓練を行う予定です。	・おたより等を通して、ご家族へお知らせしていきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・業務継続計画（BCP）を策定し、災害発生時を想定した避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・利用開始前の面談時に疾病や服薬状況等について確認をしています。利用開始後も変更等があった場合はその都度情報を得て対応します。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・現在は対象者がいませんが、必要時には適切な対応を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成し、避難訓練等を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3	2	・安全計画に基づいた取り組みを行っています。安全計画については事業所内に掲示しています。	・お便りや面談等を通して家族への周知に努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリ・ハット発生時は、ヒヤリ・ハット報告書を作成して職員間で共有を図り、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止チェックリストの実施や、研修の機会を設け、虐待防止に向けた取り組みを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・現在、対象者はいませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、適切な流れに沿って対応を行います。身体拘束についてのマニュアルが整備されています。	